

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

「返却期限日をお知らせするメールの配信について」

忙しい日々を過ごしているとすっかり忘れてしまいがちな返却期限日。実は、マイページ上で便利な「返却期限通知」メールの受信設定ができます。

設定方法
千代田区立図書館ホームページより「マイページ」にログイン後、利用者情報の「設定」をひらいて「配信」を選択、メール受信日を返却日の『1日前・3日前・7日前』から選択してください。

① メールアドレスを入力
② 受信アドレスを選択
③ 「配信」を選び1日前・3日前・7日前から選択
④ 「更新」を押す
次の画面でも もう一度押してください

Exhibit Information 12月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン
『明治 あたらしい時代を迎えた人々』(～2019/1/18)
今年2018年は、明治の始まりから150年目の年。明治という新しい時代を迎えたとき、そこに生きた人々にはどのような変化の波が押し寄せたのでしょうか。衣食住、建築、文学、芸術などに関する資料を展示しながら、現代にもつながる文化の転換期を眺めます。

3F ブルーゾーン
『漢字展』(12/18～2019/4/12) **NEW!**
毎年、1年を漢字1字で振り返る企画が注目され、近年ではアートの面からも海外で注目を集めている「漢字」。我々が暮らす上で欠かすことのできない「漢字」という文字に改めて焦点を当て、その魅力を伝える展示を行います。

展示 PICK UP

■3Fグリーンゾーン【哲学・歴史・自然科学】の本を集めたゾーン ～2019/2/15(金)

「平成の31年」
2019年に終わりを迎える平成。バブル崩壊や、度重なる自然災害の発生と同時に、テクノロジー分野の進歩などから人々の生活が激変した31年間を資料によって振り返ります。また展示内には、次の元号に使用してほしい漢字を付箋に書いて貼っていただくアンケートも設置しています。

『日本の100年』 ナショナルジオグラフィック 編 日経ナショナルジオグラフィック社 2012年
『21世紀を生きるためのドキュメンタリー映画カタログ』 國分功一郎(他) 著 キネマ旬報社 2016年

■3Fブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン ～12/14(金)

「丸と三角」お薦めの本5選
12/14まで開催中の展示「丸と三角」の中から、人の想像力を刺激する「かたち」について探求した本5冊をご紹介します。

- 『THE BOOK OF TREES』 ●著者:マニユエル・リマ ●ビー・エヌ・エヌ新社 ●2015年
- 『山の霊力 改訂新版』 ●著者:町田 宗鳳 ●山と溪谷社 ●2018年
- 『円形 ブルーノ・ムナーリかたちの不思議 2』 ●著者:ブルーノ・ムナーリ ●平凡社 ●2010年
- 『愛の不等辺三角形 漱石小説論』 ●著者:吉村 英夫 ●大月書店 ●2016年
- 『シンボル』 ●著者:アンガス・ハイランド ●ビー・エヌ・エヌ新社 ●2017年

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

千代田図書館 観てから読むと、もっとドキドキ 読んでから観ると、さらにワクワク

千代田で楽しむ ミュージアム&シアター
— 秋・冬 COLLECTION —

- 開催中～2019年1月26日(土)
- 休館日: 11月25日(日)、12月23日(日・祝)、2019年1月1日(火・祝)～3日(木)
- 千代田図書館9階 展示ウォール

この秋冬に区内の文化施設で開催される催し物情報を中心に、各施設の歴史や特色などをパネルで紹介しています。また、関連本約140冊の展示・貸出しもしています。

■紹介施設(21施設・順不同)
東京国立近代美術館/東京国立近代美術館工芸館/三菱一号館美術館/東京ステーションギャラリー/出光美術館/アーツ千代田3331/日本カメラ博物館/千秋文庫/衆議院憲政記念館/インターメディアテク/しょうけい館/明治大学阿久悠記念館/明治大学博物館/国立公文書館/宮内庁三の丸尚蔵館/科学技術館/靖国神社遊就館/国立劇場/国立演芸資料館(国立演芸場)/帝国劇場/紀尾井ホール

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

特別研究室の 貴重な古書が面白い。
日比谷図書文化館の4階にある特別研究室では、内田嘉吉文庫や千代田区所蔵の地域資料、和本など、貴重な古書約2万冊を直接手にとってご覧いただけます。幕末～明治大正期に日本や海外で出版された本が幅広く揃い、図版や写真が豊富な原書も多く、挿絵を眺めただけでも楽しめる貴重な古書を多数揃えています。本を開けば、当時の世界にタイムトリップ出来る、古書の面白さに触れてください。蔵書の内容を紹介するセミナーも開催しています。

西洋からみた日本

ケンベル「日本誌」(シーボルト「日本」、ペリー「米艦隊日本遠征録」などの原書のほか、16世紀から幕末・明治期に來日した西洋人達の著作・翻訳本が多数所蔵されています。

下田の監督官(黒川嘉兵衛)『米艦隊日本遠征録 第1巻』フランシス・L・ホークス1856年 / 特別研究室蔵

ロンドンブリッジとテムズ川 1616年『Richard Hakluyt and the English voyages』ジョージ・B・パークス1928年 / 特別研究室蔵

中世末から16世紀の西洋の古地誌と航海記を網羅する大叢書「ハクルー卜叢書」第一期刊行本の100冊がほとんど揃っています。その他、地図や挿絵が豊富な探検記、地理書など、革装の大型洋書が多数あり、諸外国の写真帖や海外の旅行本も豊富です。

冒険書や旅行記

『群書類従』
—日本における書誌学のはじまり—
塙保己一が古代から江戸初期までの史書・文学作品を集め、日本における書誌学のはじまりともいえる一大叢書『群書類従』を関連パネルやエピソードと共に展示紹介しています。

『新編航海旅行記全集 2』ジョン・グリーン 1747年 / 特別研究室蔵

calendar 開館時間:平日10時～22時 ■土曜10時～19時 ■日祝10時～17時 ■休館日

2018年 12月							2019年 1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31		
30	31												

※12月29日(土)～1月3日(木)→年末年始休館

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

access
〔都営地下鉄〕
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕
●丸ノ内線
●日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分
●千代田線
「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

12・1月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

12/6 (木) 心理学から読み解く防災行動

講師：島崎敢(国立研究開発法人防災科学技術研究所特別研究員)

多くの人は「避難したほうがいい」という情報を得ても「今までも大丈夫だったから今度も大丈夫に違いない」と行動を起こしません。それは時に自分の身を危険にさらしてしまいます。自分の命を守る第一歩として、まずはなぜ自分は「大丈夫」と思い込んでしまうのか、心の仕組みを知ることからはじめてみませんか？



- 日時: 12月6日(木) 19:00～20:45(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 500円

12/9 (日) 古書で紐解く近現代史セミナー 第32回 番町とともに歩んだ塙保己一

～『群書類従』を編纂した大國学者の足跡～

講師：齊藤 幸一(公益社団法人温故学会代表理事)

荒井 一夫(総検校塙保己一先生遺徳顕彰会事業部委員)
根岸 久(脚本家)

塙保己一は1793(寛政5)年、「和学講談所」を設立しました。「和学講談所」は表六番町(現在の千代田区三番町)にあり、1868(慶応4)年に廃止されるまで国典の教授、出版事業が行われました。本講座では、この「和学講談所」を中心に、塙保己一の生涯と国学者としての事績を紹介します。



- 日時: 12月9日(日) 14:00～15:30(13:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円

12/13 (木) HIBIYAイノベーション・キャンパス 2018 第5弾「ワークショップ【初級編】」

『システム思考で新たな価値を生む糸口を見つける』

講師：鳥谷 真佐子(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任講師)

広瀬 毅(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)

物事や世界をシステムとして捉えて問題解決やアイデア創出をするプロセスを学ぶ講座です。「ワークショップ」の【初級編】では、システム思考の基礎的な知識と、物事をシステムとして捉え、新たな価値を生む糸口を見つけるための基礎的なワークの流れを学びます。



(協力: 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)

- 日時: 12月13日(木) 19:00～21:00(18:30開場)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員: 40名 ■ 参加費: 2000円 ※2018年9月10日、10月11日に開催したワークショップ【初級編】第1弾、第3弾と同じ内容になります。

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

1/12 (土) HIBIYAイノベーション・キャンパス 2018 第6弾「ワークショップ【実践編】」

『システム思考で既存に囚われないアイデア および実現方法を考える』

講師：鳥谷 真佐子(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任講師)

広瀬 毅(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)

物事や世界をシステムとして捉えて問題解決やアイデア創出をするプロセスを学ぶ講座です。「ワークショップ」の【実践編】では、初級編と同様の知識・方法を学ぶと共に、システム思考を通じて既存のやり方に囚われないアイデアおよび実現方法を考えるまでの流れを体験します。(協力: 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)



- 日時: 1月12日(土) 13:00～17:00(12:30開場)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 40名 ■ 参加費: 3000円
- ※2018年9月22日(土)、11月24日(土)に開催したワークショップ【実践編】第2弾、第4弾と同じ内容になります。

1/18 (金) 千代田区民講座 世界の国旗とオリンピック ～国旗は国際理解の第一歩～

講師：吹浦 忠正(旗章学者、評論家)

オリンピックとパラリンピックは世界で最も重要な国際的イベントです。国旗は国家の象徴だけでなく、選手のアイデンティティや勝利の象徴など、多様な機能を持っています。1964年の東京大会で学生ながら国旗専門職に選ばれ、長く儀典担当を務めた経験や活動を様々な視点で語ります。(主催: NPO法人神田雑学大学、共催: 日比谷図書文化館)

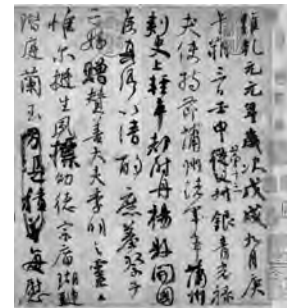


- 日時: 1月18日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 60名 ■ 参加費: 無料
- ※11月21日(水)から千代田区民受付開始。区民以外は11月28日(水)から受付開始。

1/18 (金) 展览会への入口講座 Vol.26 顔真卿と祭姪文稿 唐代書法の輝き

講師：富田 淳(東京国立博物館 学芸企画部長)

顔真卿(709～785)が、安史の乱で非業の死を遂げた若き顔季明(かんきめい)を供養した文章の草稿「祭姪文稿」は、王羲之(おうぎし)の「蘭亭序(らんていじょ)」に比肩する名品です。唐王朝が大きく変貌を遂げつつあった時期に活躍した顔真卿に焦点をあて、その生涯をたどるとともに、唐時代に作られた名品の数々をご紹介します。



- 日時: 1月18日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円(千代田区民500円)

祭姪文稿(部分)顔真卿筆 唐時代・乾元元年(758) 台北 國立故宮博物院蔵

1/23 (水) TOKYO2020を支える人たち-2 トップアスリートを支える スポーツ栄養学

講師：亀井 明子(国立スポーツ科学センター栄養グループ 前任研究員)

2020年の東京五輪の栄光を目指し日々練習を重ねるトップアスリートたち。その栄光の陰には科学、医学、栄養など様々な側面から支えている人がいます。今回は公認スポーツ栄養士としてトップアスリートを陰ながら支えている講師が日々の地道な取り組みを語ります。また、私たちにも役に立つ栄養学情報も伝えてもらいます。



- 日時: 1月23日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員: 60名 ■ 参加費: 500円

1/24 (木) 星と旅するワールドツアー ～世界の星の歴史と文化～ アジア編

講師：皆川 敏春(星のソムリエ◎ みたか)

日本の天文学の基礎は海を隔てた中国、インドなど大陸から伝わったと考えられています。しかし、日本にも天文方による独自の天文学がありました。そして輸入されたヨーロッパの学問で更に触発され、渋川春海、伊能忠敬らによって世界の知識を取り込み、西洋に肩を並べるだけの学問へと発展することができたのです。星をめぐる旅も日本に戻り最終回となります。



撮影: 皆川 敏春氏

- 日時: 1月24日(木) 19:00～21:00(18:30開場)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員: 60名 ■ 参加費: 1000円

1/30 (水) 世界史を変えた海賊 —ならず者か英雄か

講師：竹田 いさみ(獨協大学外国語学部教授)

小さな島国でとても貧しかった16世紀のイギリスが、その200年後には産業革命を成し遂げ、大英帝国を築いた。この奇跡のような発展を遂げたイギリスの謎を解く鍵となるのが、エリザベス一世女王が操った海賊にある。スペイン、ポルトガル商船を襲撃させることによる大金の獲得、東インド会社設立による巨額の利益獲得など、海賊国家イギリスの実像に迫る。

- 日時: 1月30日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円



フランス・ドレーク(1543年-1596年) 世界周航、スペイン無敵艦隊撃破、略奪で歴史に名を残す大海賊。

◆古文書塾てらこや体験講座◆

「古文書塾てらこや」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。1月期の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。まずは体験講座をお試しください。



体験講座 各回 1,000円

	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
特別講座 90分	① 大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	12/18
	② 浮世絵を読む【紅色クラス】【藍色クラス】※合同開催	(水) 10:30～	12/19
	③ 開国ニッポンの外国人—ジャーナリストの取材ノートパート2	(水) 13:30～	12/19
	④ 商家文書を読みとく—三井の子弟教育	(水) 19:00～	12/19
	⑤ 江戸を楽しむ—江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	12/20
	⑥ 絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30～	12/22

- 参加費: 各回1,000円 ■ 定員: 各講座23名(事前申込順)
 - 資料請求・体験講座のお問合せ: 電話(03-3502-3340)
- 日比谷図書文化館 古文書塾てらこや担当迄

i n f o r m a t i o n

貸出施設のご案内

日比谷図書文化館では、少人数での打合せから200人規模の講演会などのイベントに対応できるホール・会議室を貸出しています。音響・映像機器やインターネット回線もあり、区民や区内在勤者をはじめ、千代田区以外の方もご利用いただけます。



● 日比谷コンベンションホール (大ホール)/地下1階

ステージと207席を備えた本格的なホールです。講演会や学会などにご利用いただけます。



● スタジオプラス(小ホール)/4階

天井が高く、日中は窓から自然光が差し込む開放感があるホールです。会議テーブルと椅子(60席)が設置され、セミナー、ワークショップなどにおすすめです。



● セミナールームA・B (会議室)/4階

A・Bの2室とも会議テーブルと椅子(24席)あります。会議や研修、勉強会などにご利用ください。

※貸出には、千代田区立図書館の「貸出券」が必要となります。 ※詳細は、ホームページ <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>をご覧ください。

ポモ—又広報室より

早いもので、2018年もあと少しで終わりを告げようとしています。今から150年前。日本は江戸から明治へと時代が大きく移り変わりました。今のように、SNSなど情報が発達していない中で、見たこともない西洋の文化、技術、人などを目の当たりにした当時の人たちの驚きはどれほどのものだったのでしょうか。そして、今。平成が終わり新しい時代が訪れようとしています。明治のように劇的な変化はないかもしれませんが、AIや自動運転など映画や本の世界で創造した「未来」が身近になりつつあります。2019年、私たちにとってどのような年になるのでしょうか。